



## 校長先生の挑戦8：これまでの校長先生の挑戦

12月1日の全校集会では「これまでの校長先生の挑戦1～7」というテーマで、5月から11月までの「校長先生の挑戦」で話をしてきた内容を振り返りました。

挑戦1は、「あいさつは何のため?」。普段、何気なく使っている「おはよう」、「こんにちは」という言葉には、相手の体や心を思いやる意味があります。挨拶は思いやりを伝えること、相手の幸せを互いに願い合うことです。



挑戦2は、「そうじをするのは何のため?」。掃除の目的はきれいにする事。何事も目的を明確にして取り組む事が大切です。日本では子どもたちが教室の掃除をしますが、世界的には珍しいそうです。海外では、大人の清掃員が掃除をするので、子どもたちは散らかし放題。日本の学校で子どもたちが掃除をするのは、世の中を自分の手で良くしていこうとする心を育てるためです。

挑戦3は、「磨くのは何のため?」。歯を磨くようにこつこつと取り組むのは体や心を強くするため、床を磨くように懸命に取り組むのは心を動かすため、腕を磨くように得意な事を伸ばすのは自分らしさを大切にするため、自分を磨くように苦手な事にも挑戦するのは「ありがたい自分」に近づくため。こつこつと、懸命に、自分らしく、「ありがたい自分」を目指していこう。



挑戦4と挑戦5は、夏休みを挟んで、「夏休み何する?」「夏休み何した?」というタイトルでした。夏休みには、子どもたちに様々な経験をして欲しい。博物館は新しい世界への入り口です。少し縁遠い感じもしますが、子どもたちの「新たな世界への扉」を開けてあげることも大切だと思います。左の写真は、夏休み中の図工の研修の様子です。夏休み、先生方も、それぞれに新しい何かに挑戦しました。

挑戦6は、「学ぶのは何のため?」。11歳のマラユスフザイが命がけで守ろうとしたのは「学ぶ権利」。「女性も学んでいい」。この当たり前のことを、知って、感じて、考えた結果、彼女が選んだのは、自分の思いを世界に伝えるという行動でした。知らなければ始まらない、感じなければそこで終わり、考えなければ進まない、行動しなければ知らないのと同じです。



挑戦7は、「頑張るのは何のため?」。「頑張るのは感動するため」→「感動するのは心に残すため」→「心に残すのは未来に繋ぐため」運動会練習の際に、子どもたちに向けた言葉です。運動会の一ヶ月程前に20枚の黄色いサージが届きました。サージとはエイサーの際にかぶる頭巾。十数年前の運動会でエイサーを精一杯頑張り、その感動を胸にしっかりと刻みつけて卒業したお二人の先輩(御兄弟)からのプレゼント。プレゼントというよりエールと言った方が良いかも知れません。子どもたちは、受け取ったエールを誰にどのように返して行くのでしょうか?

## 校長先生の挑戦9：宿泊学習・修学旅行は何のため？

12月24日の終業式では「宿泊学習・修学旅行は何のため？」というテーマで、11月28、29日に実施した5年生の宿泊学習と、12月5、6日に実施した6年生の修学旅行を振り返りながら話をしました。

どちらの行事でも、出発する子どもたちに話したのは、「今から行く場所には、楽しいことが沢山待っているというわけではありません。楽しいことをみんなでつくりに行きましょう。」ということでした。これが、家族旅行というのであれば、楽しいことが、



沢山、待っていた方が良いに決まっています。しかし、「学校行事」の一つである宿泊学習や修学旅行は、体育的行事である運動会や、儀式的行事である入学式・卒業式と同様に、教育的な目的を持って実施されています。その目的とは、簡単な言葉で表現すると「自分たちの手で世の中を良くして行こうとする心を育てる」ということです。

この「学校行事」と、より良い学級生活を目指して行う「学級活動」、それを学校全体で行う「児童会活動」、共通の興味・関心のある者が集まって行う「クラブ活動」の4つを合わせて「特別活動」と呼んでいますが、この「自分たちの手で世の中を良くして行こうとする心を育てる」という目的は、4つの特別活動全てに共通する目的と言っても良いかも知れません。



国語や算数といった教科の授業や、ICT活用などに目が向きがちであり、働き方改革やコロナ禍を経て、どの学校においても縮小傾向にある「特別活動」ですが、闇バイトが横行し、当たり前のように詐欺メールが着信し、他者に対する誹謗中傷が渦巻く

現代社会において、「自分たちの手で世の中を良くして行こうとする心を育てる」ことこそ喫緊の課題ではないかと考えます。実際に、エジプトでは、日本の特別活動、通称「特活」が「TOKKATSU」として国を挙げて取り組まれ、成果を上げつつあります。ワールドカップ観戦後にゴミを拾うサポーター、被災した極限状況にあっても、整然と並んで救援物資を待つ人々など、世界が驚く日本人の姿ですが、それを育ててきた「日本型教育」の素晴らしさを見失うことがないように願います。



### スマホは諸刃の剣。与えるなら、傷つき傷つける覚悟を！

11月の終わりに、本校で、SNSに関わるトラブルがありました。友だちとの悪ふざけの様子を動画で撮影し、それをティック・トックでネットに上げたというものでした。上げた本人は、悪ふざけのつもりでも、二人の関係を知らない人が見れば、悪ふざけでは済みません。他の学校では、楽しそうに遊んでいる姿であっても、肖像権の問題（顔を晒すことで犯罪に巻き込まれるリスクが高まる）で大きなトラブルになりました。便利な反面、クリック一つで、被害者になるだけでなく、加害者にもなり得るSNS。全ての責任は、判断できない子どもにスマホを与えた者にあります。

### 1月の行事予定

1月 6日	始業式	1月21日	子どもの声を聞く会
1月10日	6年生発表	1月24日	持久走記録会
1月15日	避難訓練事前指導	1月29日	読み聞かせ（保護者）
1月17日	油津中入学説明会		

